

報道関係各位

2015年7月21日
学校法人成城学園

成城学園創立者 澤柳政太郎の生誕の地 長野県松本に「成城学園ふるさとの森」が誕生 ～自然に親しむ教育のフィールドとしての活用や森林育成による社会貢献を目指し～

学校法人成城学園（東京都世田谷区 理事長：渡 文明）は、成城学園創立者 澤柳政太郎生誕の地である長野県松本に2015年7月17日（金）に「成城学園ふるさとの森」を設置いたしました。

「成城学園ふるさとの森」は、成城学園の生徒学生たちが、自然に親しむ教育のフィールドや森林育成による社会貢献活動の場として活用するため、長野県と「県有林の利活用に関する協定」を締結し、ネーミングライツを利用し「成城学園ふるさとの森」を入山辺県有林の一部に設置しました。



※7月17日（金）当日は「100年の森」計画で育てたコナラの苗を植樹しました。

本学園は、創立者 澤柳政太郎が教育の理想とした「人それぞれの備えている内在的な「天分」を伸ばし、個性の花を開かせること」を実現するために、「個性尊重」「自然と親しむ教育」「心情の教育」「科学的研究を基とする教育」の四つの綱領を掲げています。この四綱領の一つである「自然と親しむ教育」の一層の推進を図るため、年間を通じて「成城学園ふるさとの森」を環境教育フィールド研修の場として自然・森林・林業体験活動に活用してゆきます。

<成城学園ふるさとの森 概要>

所在地：松本市大字入山辺山南側8961-12番地

面積：2.5ha

活動内容：林間学校参加者対象とした、年間を通じて環境教育のフィールド研修として自然・森林林業体験活動等

長野県と成城学園は、両者が有する人的資源知的資産を活用し、相互の幅広い連携・交流関係を深め、豊かな地域社会の発展と人材育成に寄与することを目的に2014年3月14日に「長野県と学校法人成城学園との連携に関する協定」を締結しております。※長野県・林務部の協力による「100年の森」計画
2014年12月着工の中高一貫新校舎。現在の高等学校の敷地が大きく変更される建設計画のため、この範囲内の多くの樹木が伐採されました。「伐採された樹木を何らかの形で残したい」という思いから長野県・林務部の協力を得て、現在の状況を調査し、保存と整備についてアドバイスをいただきました。その結果、伐採される予定の樹木の種子を拾って育て、苗木になったら施設設備計画で空いたスペースに植林してDNAを残すという計画が考案されました。これが「100年の森計画」です。

本件に関するお問い合わせ

学校法人成城学園 〒157-8511 東京都世田谷区成城 6-1-20

企画広報部 TEL 03-3482-1092 FAX03-3482-1489 HP www.seijogakuen.ed.jp/

E-mail kikaku@seijo.jp